

平成22年度 決算説明書／事務事業評価シート

部局名	建設部
課室名	建設課

予算	款	項	目	決算書
	8	5	2	192 頁

目 名
住宅建設費

事務事業名称
市営住宅整備事業

1. 概要

目的	安全で快適な居住環境を提供する	対象	入居者
事業概要	○市営住宅整備事業 ・朝地住宅建設のための実施設計 ・菅尾住宅建替のための実施設計、解体工事、移転補償 ・黒峰住宅水洗化工事		

臨/経	事業名	事業内容（主な経費等）		予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	市営住宅整備事業	朝地住宅、菅尾住宅、黒峰住宅	委託料	26,762	26,278	6,237	17,100		2,941	3
計				26,762	26,278	6,237	17,100	0	2,941	

2. 指標設定

成果指標	指標名	公営住宅等長寿命化計画に基づく居住環境整備		目標年度	—	指標の設定理由			
	数値	—				総合計画／後期基本計画において、基本施策(3-1-2)の重点施策としているため			
活動指標	指標	a	市営住宅建設(朝地)	b	市営住宅建替(菅尾)	c	ストック住宅の予防保全	d	
	数値	目標	28戸	目標	52戸	目標	—	目標	

3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位	H20	H21	H22
公営住宅等長寿命化計画に基づく居住環境整備		—	—	—

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 市営住宅建設(朝地)		—	—	—
b 市営住宅建替(菅尾)		—	—	—
c ストック住宅の予防保全		—	—	—
d				

4. 課題と対応

課題
既存住宅の老朽化が激しい
対応(改善点等)
計画的に整備を行う

5. 事業費・・・H20～H22(決算額)、H23(予算現額)

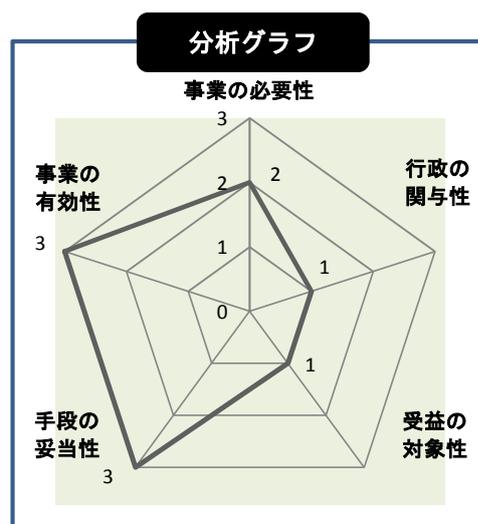
決算額(千円)		H20	H21	H22	H23
うち経常経費		504,516	233,115	26,278	211,511
うち経常		6	956	1,632	1,893
財源内訳	国費	239,639	101,569	6,237	96,104
	県費				
	市債	263,800	122,000	17,100	107,300
	その他				
	一般財源	1,077	9,546	2,941	8,107
うち経常		6	956	1,632	1,893
事業費に係る人件費		7,641	7,680	7,883	7,740

6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
長寿命化計画にそって施行していく必要有り

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	2 地域ごとの必要性を再確認する必要有り
② 行政の関与性	責任領域の精査	1 民間が手を出さない地区がある
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 入居者だけに恩恵がある
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 老朽化し危険な住宅は建て替える必要がある
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 住宅が新しいと入居率も良く既存住宅の改修は入居者も望んでいる



8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

事業の方向性	評価内容
継続	限られた予算の中、選択と集中を図りつつ、計画的に事業進行を行うこと